

# 川崎市生田緑地の鳥類-4

Wild birds of the Ikuta Ryokuchi Park-4

佐野悦子\*・大橋 毅\*・瀧孔一郎\*・中村 亨\*・平賀孝政\*・  
水田茂子\*・森 佳子\*

Etsuko Sano\*, Takeshi Oohashi\*, Kouichirou Taki\*, Toru Nakamura\*, Takamasa Hiraga\*,  
Shigeko Mizuta\* and Yoshiko Mori\*

\*特定非営利活動法人かわさき自然調査団 野鳥班

Wild Bird Research Group, Kawasaki Organization for Nature Research and Conservation

## 1 はじめに

かわさき自然調査団では1986年3月より川崎市多摩区生田緑地の野鳥の調査を継続して行っている。今回、第8次調査を2010年4月から2015年3月までの5年間実施した。今回は、この調査結果、および過去20年間の鳥類の採食事例を本報にまとめた。なお、鳥類調査は第8次調査終了後の2015年4月以降も継続して行なっている。

## 2 調査方法

### 2-1 調査地の概要

調査は主として生田緑地中央地区で行った(以下「中央地区」と略す)。中央地区は図1に示すように丘陵の尾根と谷戸が入り組んだ地形で、変化に富む自然環境を有した公園として保全されている緑地である。管理面積は約52haで、緑地内には川崎市青少年科学館、日本民家園、伝統工芸館、岡本太郎美術館、枳形山広場、中央広場などがあり、植栽が施されている。まわりはゴルフ場、大学、住宅地に囲まれている。植生はコナラ、クヌギを主体とする二次林からなり、他にイヌシデ、ミズキ、エゴノキ、ヤマザクラ、ハリギリなどの落葉広葉樹や、シラカシ、スダジイなどの常緑広葉樹とスギ、アカマツなどの常緑針葉樹が混じっている。これらの高木層の下には亜高木層としてヒサカキ、低木層としてアオキなどの常緑広葉樹が生育し、林床はアズマネザサで覆われているところも多い。ホテルの里には水田、畑、湧水のある草地がある。定例調査は、図1に示すように中央地区について調査コースを2経路設け実施した。このコースは前報(佐野悦子・野鳥班, 2011a)における調査コースとほぼ同じである。一つは公園の東口駐車場(A)よりスタートし、野鳥の森(B)、菖蒲池(C)、野鳥観察小舎(D)、つつじ山(E)、梅園(F)、かおりの園(G)、科学館(H)に至る約1.9kmのコースである。もう一つは、(A)よりスタートし、枳形山広場(I: 標高84m)、戸隠不動尊跡(K)、ホテルの里(L)、谷間の探勝路(M)、ピクニック広場(N)、見晴台(O)、奥の池(P)に至る

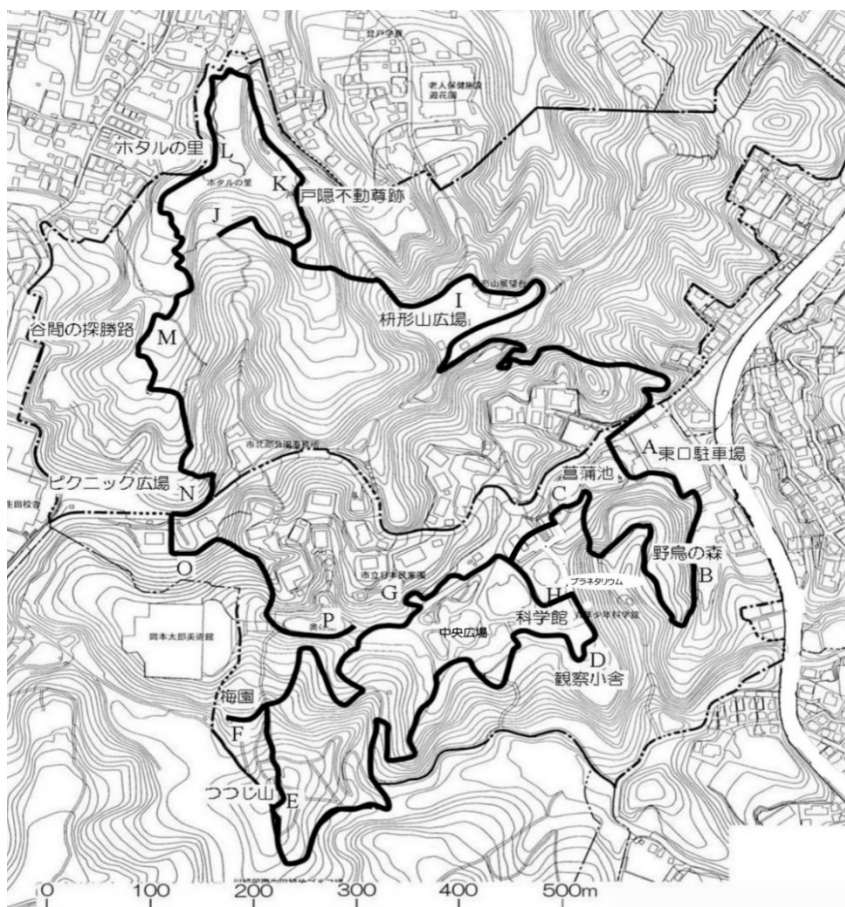


図1) 生田緑地での定例調査コース。

2.1 km のコースである。B, D には谷戸からの湧水, M は湿地帯でハンノキ林がある。P の池のまわりにはメタセコイアが植えられている。生田緑地は 2010 年より、中央広場の改修工事、川崎市青少年科学館の増改築工事、ビジターセンターの新築工事などが続いたが、2012 年 4 月にほぼすべて完了した。これに伴い、調査コースも若干変更した。なお、中央地区のほかには生田緑地初山地区（以下初山地区と略す）があるが、ここはゴルフ場に接しており、水生植物観賞池の湿地、「おもい出のうたのこみち」を含む小高い丘などがある。初山地区の観察結果は定例外調査の一部として今回の報告に含めた。

## 2-2 調査方法

定例調査（以下、定例と略す）は調査コースをラインセンサス法で歩き、上空を通過した個体も含め、コースの左右 25 m 以内に出現した鳥の種名、個体数を調査地図、調査シートに記入した。調査終了後、シートに記入した鳥の種名、個体数を集計し、調査記録とした。定例は原則として月 1 回、第 2 火曜日とし、2 コースに分かれ午前 9 時頃より始めた。2 コースの合計平均調査時間は約 4 時間、調査参加人数は約 13 名である。定例とは別に、野鳥班員が個人で生田緑地（中央地区および初山地区）を周り観察した鳥類は定例調査外（以下、定例外と略す）とし記録に残した。また、特に鳥の採食行動については詳しく観察、記録した。調査には双眼鏡を用い、ときに望遠鏡、カメラも使用した。執筆者以外の調査参加者氏名は文末に記す。

## 3 調査結果

2010 年 4 月から 2015 年 3 月までの定例で確認された鳥は 32 科 73 種となった。各年度別の調査結果を日本鳥類目録第 7 版（日本鳥学会編、2012）に従い、表 1~5 に示した。また定例外の野鳥班員の情報、班員以外からの情報、渡りの季節の早朝探鳥などで確認された種を加えると、表 6 のとおり 36 科 96 種となった。表 1~6 にはつぎに述べる渡り区分を付けた。留鳥 (R)、夏鳥 (S)、冬鳥 (W)、通過鳥 (T: 若鳥等の分散途中と思われる記録を含む)、逸出種 (A: 飼い鳥が逃げ出したものと思われる) である。渡り区分は、日本野鳥の会神奈川支部編 (2013) に準じ、川崎北部地域の渡り区分とした。

### 3-1 定例で確認された鳥類

定例で確認された鳥類の内訳は、留鳥 21 科 31 種、夏鳥 3 科 4 種、冬鳥 12 科 25 種、通過鳥 7 科 13 種であり、渡り区分に分け 1 年間に確認した個体数の合計が多い順に表 7 に示した。

なお、本報告で個体数というのはあくまでも観察された個体数であって、実際に生息している数（生息数）ではない。生息数の把握はどのような調査方法でも難しい。ここでは月 1 度の決められた方法による観察結果から得られた鳥の数を個体数ということにし、その合計を総個体数ということにする。同一調査方法の結果なので生息数などの議論は困難でも個体数の変化などに関しては多少なりとも比較可能と考えている。

留鳥は 21 科 31 種が確認された。個体数が多い 10 種は、ヒヨドリ、シジュウカラ、メジロ、ハシブトガラス、コゲラ、ウグイス、ガビチョウ、エナガ、ドバト、キジバトであった。

夏鳥はホトトギス、ツバメ、イワツバメ、キビタキの 3 科 4 種が確認された。

キビタキは前報（佐野悦子・野鳥班、2011a）では通過鳥となっているが、今回は夏鳥とした。春及び秋の渡りの時期以外にも成鳥が観察されており、2011 年 8 月、2013 年 7 月、2014 年 7 月に幼鳥が観察され、2014 年 5 月には巣材を運ぶのが観察された。これらのことから、毎年少なくとも一つがいは繁殖しているものと思われる。

冬鳥は 12 科 25 種が確認された。個体数の多い 5 種はアオジ、シメ、シロハラ、ツグミ、カケスであった。このうちカケスは、2011 年度は 10 月に 1 羽しか観察できなかった。冬鳥は年による増減が激しく、2010 年度と 2012 年度に個体数、種類数ともに多く渡来し、2011 年度、2013 年度は少なかった。ソウシチョウは前報（佐野悦子・野鳥班、2011a）では冬鳥になっている。今回も冬鳥としたが、近年は繁殖期に定例（2014 年 7 月）および定例外（2013 年 6 月、2014 年 5、6、7 月）で度々観察されており、今後の推移によっては冬鳥から留鳥への区分変更も考慮しなければならないであろう。

通過鳥は 7 科 13 種が確認された。定例外を入れると毎年確認されている種は、アオバト、サンショウクイ、サンコウチョウ、ヤブサメ、センダイムシクイ、コルリ、エゾビタキ、コサメビタキ、オオルリであった。なお、ヤブサメは定例では声のみの観察であったが、2014 年 5 月 26 日には巣材を運ぶのが観察された。通過鳥は 1~2 週間で移動するものが多い。神奈川県では希少種のキマユムシクイについては、後述する。

### 3-2 定例外で確認された鳥類

定例外だけで確認された鳥類は、表 8 に示したように、留鳥 4 科 4 種、夏鳥 2 科 2 種、冬鳥 2 科 2 種、通過鳥 8 科 14 種、逸出種 1 科 1 種であった。

表 8) 定例外調査における鳥類出現状況  
2010 年度～2014 年度.

種名	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	渡り 区分
ヒメアマツバメ		○			○	R
フクロウ	○	○	○	○	○	R
セグロセキレイ	○		○			R
ホオジロ				○	○	R
コシアカツバメ			○			S
オオヨシキリ	○					S
マガモ					○	W
ハヤブサ		○		○		W
ミゾゴイ			○	○	○	T
ジュウイチ					○	T
ツツドリ		○	○	○	○	T
カッコウ	○		○			T
ヨタカ					○	T
アマツバメ	○					T
キレンジャク					○	T
コムクドリ				○		T
マミジロ		○				T
クロツグミ		○	○	○	○	T
マミチャジナイ	○		○		○	T
コマドリ	○	○	○	○	○	T
サメビタキ	○	○	○	○	○	T
コホオアカ				○		T
ワシミミズク		○				A
種数	8	9	10	10	12	

留鳥ではヒメアマツバメ、フクロウ、セグロセキレイ、ホオジロが確認された。フクロウは視認および夜間の鳴き声の観察である。ホオジロは枳形山周辺、初山地区などで観察された。

夏鳥はコシアカツバメ、オオヨシキリが確認された。オオヨシキリは「かおりの園」と初山地区で鳴いている姿が観察された。

冬鳥はマガモとハヤブサであった。マガモは奥の池で採食していた。ハヤブサは上空を飛んでいるのが観察された。

通過鳥はミゾゴイ、ジュウイチ、ツツドリ、カッコウ、ヨタカ、アマツバメ、キレンジャク、コムクドリ、マミジロ、クロツグミ、マミチャジナイ、コマドリ、サメビタキ、コホオアカである。

ミゾゴイ、ヨタカ、キレンジャク、マミジロ、コホオアカについては後述した。ツツドリ、クロツグミ、コマドリ、サメビタキは、ほぼ毎年鳴き声や姿が観察されているが、生田緑地での滞在期間が短いため、定例で観察するのは難しい。定例外に個人でたびたび生田緑地を調査している成果である。

逸出種はワシミミズクで、飼育個体が逃げ出したものと思われる。

### 3-3 2002~2014 年度の定例、及び定例外の種数の推移

定例で確認された種数、及び定例外で確認された種数の推移を、図 2 に示した。

定例の種数が少ないのは 2002 年度 43 種、多いのは 2012 年度 56 種で、10 種前後の差であった。種数は 2002 年度より若干増える傾向にある。

定例外で少ないのは 2002 年度 17 種、多いのは 2008 年度 34 種であった。定例外は 20 種前後の差があり、微増している。

定例、定例外ともに種数が増えている理由には、調査員の増加や情報提供者の増加のほか、周辺の開発により緑の残る生田緑地に野鳥が集まってきたこともあるのではないかと推察される。

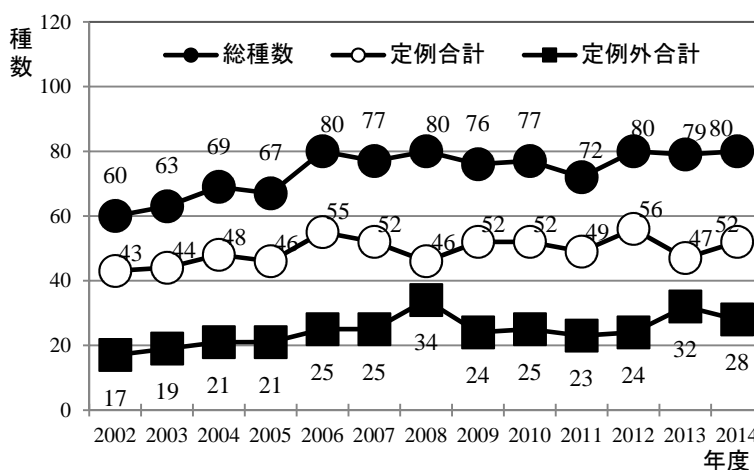


図 2) 2002~2014 年度の定例・定例外・総種数.

## 4 生田緑地では珍しい野鳥

ミゾゴイ 成鳥 1 羽 (写真: 口絵図 7-1)

観察日: 2014 年 11 月 8 日

過去にも稀に、春の視認記録があったが、2014 年は秋に観察した。暗い林の中でしばらく動かず、少し飛んで移動してはまた静止を繰り返した後、飛び去る。他に 2012 年 5 月 10 日、2013 年 4 月 25 日及び 5 月 1 日に観察されている。環境省第 4 次レッドリストの絶滅危惧 II 類 (VU) に位置づけられている。

キマユムシクイ 1羽 (写真: 口絵図 7-7)

観察日: 2014年1月3日, 2014年2月6日~3月16日

1月3日に灌木の間を敏捷に移動するのを視認したが, その後の1ヶ月は確認できず, 2月6日に再確認した. その後はシラカシやコナラなどを枝から枝へと動き回っているのを連日観察でき, 時折鳴く声も確認した. 3月16日を最後に見られなくなった. 神奈川県では2例目の記録で, 生田緑地では初記録である.

ヨタカ 1羽 (写真: 口絵図 7-2)

観察日: 2014年6月4日

ニセアカシアの横枝に止まり, 目を閉じて静止していた. ときどき目を大きく開き, ごくたまに大きな口を開けた. 体を左右にゆすりながら少しずつ移動するが, 3時間で20cmほどしか進まなかった. この日は昼前から夕方まで同じ場所にいたので多くの人が観察することができた. 翌日には姿が見られなかった. 環境省第4次レッドリストの準絶滅危惧 (NT) に位置づけられている.

キレンジャク 1羽 (写真: 口絵図 7-6)

観察日: 2015年3月22日 (初認) ~3月29日 (終認)

3月22日に観察した時は, 奥の池付近でキチジョウソウの赤い実を採っては, モミジの木の枝上で採食していた. 食べ物を探して生田緑地を飛び回っていた様子. 3月29日ホテルの里では, シメと争っているところを観察できた. 足を使った空中戦をした後, 2羽は暫くの間睨み合っていた. その後2羽とも飛び去った.

マミジロ 成鳥, オス1羽

観察日: 2011年5月6日

モニ 1000 生田緑地中大型哺乳類調査定点カメラに地上で採食する姿が写っていた. 生田緑地初記録.

コホオアカ 1羽 (写真: 口絵図 7-8)

観察日: 2013年4月15日

つつじ山の通路の水溜りで水浴びをしていた. 頭央線があり, 胸が白く縦斑があり, ホオアカより小さかった. 生田緑地では初記録である.

## 5 野鳥と植物の採食関係

1996年から2015年の生田緑地における20年間の採食記録を整理した. 野鳥は, 季節に応じて多くの種類のさまざまな植物の部位を食べている. たとえば, 冬は木の芽, 春になると新芽や蕾, 花, 秋には実が多くの鳥の食べ物になる.

子育ての春には昆虫など動物性の食物を多く採食しているのが観察される. また冬には地面に落ちている木の実や草の種を探していたり, 植物の葉の裏についているアブラムシやカイガラムシなどの小さな昆虫を食べている. しかし我々の観察では, 地面に落ちている種子の種類や葉の裏などにいる小さな虫の種類を知ることにはほぼ不可能である. 20年間の記録でも, 地面に落ちた木や草の実の種類や虫の種類などを記録している事例は少なく, 大部分が木や草に残っている実や花などの採食記録であった. そこで今回は木の実を中心にどんな鳥がどのような植物を好むのか, 多くの種類の植物を食べる鳥は何かなど, 野鳥と植物の採食関係について報告する. 図3に野鳥が植物の実を採食している写真を載せた.

### 5-1 野鳥と木の実の採食関係

表9に野鳥と木の実の採食関係をまとめた. 表中の鳥の種類は41種, 採食される樹木の数は67種であった. 植物は標準和名の五十音順とし, 野鳥は採食植物種数が多い順とした.

最も多種の木の実を食べているのはヒヨドリで, 29種におよんでいた. 次にメジロ22種, ハシブトガラス20種, キジバト14種, シジュウカラおよびヤマガラが13種, コゲラ9種の順であった.

一方食べられる樹木から見ると, 最も多かったのはエノキで16種の鳥に食べられていた. 次はミズキで13種, アカメガシワとムクノキ11種であった. サクラは葉や花など様々な部位が食べられたため採食を確認した鳥の種数が多いが, サクラの実を食べた鳥は7種であった.

### 5-2 木の実以外では樹木のどこを食べているか

木の実以外の樹木の部位と野鳥との採食関係を, 表10に示した. ヒヨドリがいろいろな樹木の

さまざまな部位を食べていることが良くわかった。またメジロは多くの種類の花の蜜を吸い、マヒワは、春にイヌシデ、クヌギ、コナラなどの垂れ下がる花序に集団で群がっていた。表 11 には採食される部位が多様であったサクラについて、どこをどんな鳥が食べているかを示した。なお、ここでいうサクラはサクラ類のことで、生田緑地ではソメイヨシノとヤマザクラが大部分である。表によれば実を食べる鳥が 7 種で最も多かったが、子房を食べるものが 6 種、花卉や蜜を吸うものが 4 種とサクラはさまざまな部位をいろいろな種類の鳥に食べられていた。

なお、2014 年度に生田緑地で観察された採食事例のうち、過去の記録になかった事例は樹木以外の 2 例を含め、以下の通りであった。

アオジ	メタセコイアの実
アカゲラ	アカメガシワの実、エノキの実
カケス	キヅタの実
キジバト	ミズヒキの実
キレンジャク	オモトの実、キチジョウソウの実
クロジ	タケニグサの実
ヒヨドリ	ノキシノブの葉
ヤマガラ	キヅタの実、コブシの芽
ルリビタキ	アカメガシワの実、ハンノキの実

### 5-3 野鳥と草本類との採食関係

草本類の種子を食べる鳥と草の種類との関係を整理した。先に述べたように、草の実は地面に落ちているときは種を特定することが難しいので採食記録が少ない。それでも 20 年間で多少の観察事例が集まったので報告することにした。表 12 に 17 種の野鳥と 22 種の草本類との採食関係を示した。最も多種の草本類の実を食べていたのはアオジで 9 種、次にキジバトが 7 種であった。その他の鳥種では極端に観察事例が少なくスズメ 3 種のほかは 2 種以下であった。一方、よく採食が観察されたのはイノコズチで 7 種の鳥に食べられていた。そのほかイネ、カナムグラ、カラスウリ、ススキ、タケニグサがそれぞれ 3 種の鳥に食べられていた。

なお、これらは生田緑地で観察された事例であり、別の地域では植生や鳥種および個体数などが異なるため、野鳥と植物の採食関係も異なるであろう。

このまとめを通じて、どんな鳥がどのような植物を好むのか、多くの種類の植物を食べる鳥は何かなどについて、おおよその傾向を知ることができた。その結果は私たちが観察を通じて感じていたことと大差なかったが、植物種同定の精度向上や個々の採食事例の検討などはこれからの課題である。今後も調査を継続して質の高いデータを蓄積していくつもりである。

## 6 まとめ

2010 年 4 月から 2015 年 3 月までの 5 年間の調査結果をまとめた。

定例調査で確認された鳥は 32 科 73 種であった。その内訳は、留鳥 31 種、夏鳥 4 種、冬鳥 25 種、通過鳥 13 種であった。定例調査以外の情報を含めると 36 科 97 種が観察された。キビタキは繁殖行動が観察され、川崎市北部地域の渡り区分で通過鳥から夏鳥に変更した。また、ソウシチョウについては、生田緑地での繁殖の可能性が高く、従来からの渡り区分の再検討が必要と考えられた。

さらに、本報告では初めて過去 20 年間の調査記録に基づき野鳥と植物の採食関係について整理した。その結果、45 種の野鳥と生田緑地の 101 種の植物とのおおよその採食関係がわかった。多くの種類の植物を食べているのは、ヒヨドリ 38 種、メジロ 23 種、キジバトとハシブトガラス 22 種であった。一方、多くの種類の鳥に食べられている植物はエノキ 16 種、ミズキ 13 種、アカメガシワとムクノキ 11 種などであった。その採食関係は、全体的には普段から観察者が感じていたことと大差なかったが、個々の詳細については今後さらに検討していきたい。

観察された野鳥の種数は、2002 年度～2014 年度の間にわずかに増加していた。調査員や情報提供者が増えたことにもよるが、調査地周辺の開発により、それまで周辺の林に分散していた野鳥が、まとまった緑の残る生田緑地に集まらざるを得なくなっているという可能性もある。そう考えると、生田緑地は野鳥にとってますます貴重な存在になっているといえる。

都市公園の為、道路の整備、危険な樹木の伐採などにより、環境が変化していくのは仕方がない部分があるが、自然を大きく改変せず生態系に大きな影響を与えない方法など、工夫できることはまだ多いと思われる。鳥類のカウントや観察記録などの客観的データを通して環境保全に関わる提言等をしていきたい。

## 7 謝辞

渡部良樹氏には、日本野鳥の会神奈川支部を通じてキマユクシクイの同定をしていただいた。叶内拓哉氏には、写真撮影者の大野 章氏を通じてコホオアカの同定をしていただいた。大野 章氏には、コホオアカの写真掲載について快諾を得た。これらの方々に厚く感謝する。さらに、生田緑地のバードウォッチャー、カメラマン、川崎市青少年科学館職員、かわさき自然調査団事務局および団員など多くの方々に鳥の生息に関する様々な情報をいただいた。ここに感謝の意を表す。

## 8 参考文献

- 日本鳥学会 (編), 2012. 日本鳥類目録改訂 第7版. xx+438 pp., 日本鳥学会, 三田.
- 日本野鳥の会神奈川支部 (編), 2013. 神奈川の鳥 2006-10 -神奈川県鳥類目録 VI-. 362 pp. (incl. 8 pls.), 日本野鳥の会神奈川支部, 横浜.
- 佐野悦子・野鳥班, 2007. 川崎市生田緑地及び川崎国際生田緑地ゴルフ場の鳥類. 川崎市自然環境調査報告VI: 132-147. 川崎市教育委員会・特定非営利活動法人かわさき自然調査団.
- 佐野悦子・野鳥班, 2011a. 川崎市生田緑地の鳥類 3. 川崎市自然環境調査報告VII: 75-87. 川崎市教育委員会・特定非営利活動法人かわさき自然調査団.
- 佐野悦子・野鳥班, 2011b. 川崎国際生田緑地ゴルフ場の鳥類-2. 川崎市自然環境調査報告VII: 89-94. 川崎市教育委員会・特定非営利活動法人かわさき自然調査団.

インターネット情報

環境省第4次レッドリスト (2012). [http://www.biodic.go.jp/rdb\\_top.html](http://www.biodic.go.jp/rdb_top.html) (閲覧日: 2015年7月)

## 9 執筆者以外の調査参加者

特定非営利活動法人かわさき自然調査団 野鳥班

稲澤尚代, 井原 隆, 上原京子, 大塚堅一郎, 大森洋子, 金井美智子, 菊地有子, 佐々木和子, 志村章子, 下條喜代子, 武井キミ子, 田村三貴, 福田公子

表 1) 生田緑地での 2010 年度定例調査における月別の確認種および個体数.

No	年 月日 天候 風速	2010										2011			合計	渡り 区分
		4/13	5/11	6/8	7/13	8/10	9/14	10/8	11/9	12/14	1/14	2/8	3/8			
		晴 弱	雨 無	曇 無	曇/雨 微	曇 弱	晴 微	晴 弱	晴 強	曇/雨 弱	晴 弱	曇 弱	曇 無			
	調査時間 (分)	250	185	245	230	200	220	220	250	240	300	280	265	2885		
1	カルガモ	2		1	1							3	2	9	R	
2	キジバト	5	5	2	1	3	2	3	1	16	16	15	7	76	R	
3	カワウ												1	1	R	
4	ゴイサギ												1	1	R	
5	アオサギ							1			1			2	R	
6	コサギ												1	1	R	
7	ホトトギス			2	3									5	S	
8	ヤマシギ										1			1	W	
9	トビ						1	1				2	2	6	R	
10	ツミ										1			1	R	
11	オオタカ	2						1	1					4	R	
12	カワセミ	3	2	1	1				1	1				9	R	
13	コゲラ	22	4	20	14	6	11	6	13	12	18	13	18	157	R	
14	アカゲラ							1						1	W	
15	アオゲラ	1	1	4	5	2	4	1	1	4	1	2	2	28	R	
16	チョウゲンボウ								1				1	2	R	
17	モズ							1			1			2	R	
18	カケス	2						1	2	2	3	2	3	15	W	
19	オナガ			6										6	R	
20	ハシボソガラス	1	7	9	2	2	2	2	2	9	2	6	5	49	R	
21	ハシブトガラス	32	39	68	24	23	22	100	17	26	26	22	39	438	R	
22	ヤマガラ	7	1	10	4		6	1	5	1	15	7	10	67	R	
23	ヒガラ									2	3		1	6	W	
24	シジュウカラ	41	21	49	34	15	46	58	42	93	70	36	34	539	R	
25	ツバメ		2	13	16	1								32	S	
26	イワツバメ			7										7	S	
27	ヒヨドリ	106	24	27	28	24	14	56	63	128	97	42	32	641	R	
28	ウグイス	41	20	14	15	13	4	4	8	7	13	4	11	154	R	
29	ヤブサメ			2										2	T	
30	エナガ	3	2		3		14	2	20	15	16	15	10	100	R	
31	メジロ	29	10	22	39	30	37	90	13	39	71	55	4	439	R	
32	トラツグミ												1	1	W	
33	シロハラ	2								1	24	9	4	40	W	
34	ツグミ	1							1	37	25	8	1	73	W	
35	ルリビタキ									2	1	1	2	6	W	
36	ジョウビタキ								1	1	2	1	2	7	W	
37	エゾビタキ							3						3	T	
38	キビタキ		1					1						2	S	
39	オオルリ		1											1	T	
40	スズメ	5	3	10	17	17	3		2	6		1		64	R	
41	キセキレイ	2								1			1	4	R	
42	ハクセキレイ			2			1	2	1			1		7	R	
43	ビンズイ	2									3			5	W	
44	カワラヒワ	1		1						35	18	15		70	R	
45	マヒワ										11	7		18	W	
46	シメ	9	4						2	22	12	43	4	96	W	
47	イカル	3									5	10	2	20	W	
48	アオジ	3							1	6	16	12	10	48	W	
49	コジュケイ	1		2				1				1		5	R	
50	ドバト	24	5	4	3	5	5		31	2	14	1	4	98	R	
51	ガビチョウ	19	8	20	11	17	9	3	5	7	10	6	1	116	R	
52	ソウシチョウ	11									5	1		17	W	
	総個体数	380	160	296	221	158	181	339	234	475	501	341	216	3502		
	総種数	28	19	23	18	13	16	22	23	25	30	29	30	52		

表 2) 生田緑地での 2011 年度定例調査における月別の確認種および個体数.

No	年 月日 天候 風速	2011										2012			合計	渡り 区分
		4/12	5/10	6/14	7/12	8/9	9/13	10/7	11/8	12/13	1/13	2/14	3/13			
		晴 強	曇 微	曇 無	晴 中	晴 無	晴 微	晴 強	曇 弱	晴 弱	晴 無	曇 微	晴 強			
	調査時間 (分)	275	270	255	230	220	225	240	225	255	235	230	245	2905		
1	カルガモ	2		2						1				5	R	
2	キジバト	9	11		4	9	1	2	1	4	5	16	13	75	R	
3	カワウ		4								1			5	R	
4	アオサギ				1			1			2	1		5	R	
5	コサギ	1										1	1	3	R	
6	ホトトギス			4	2									6	S	
7	ヤマシギ												1	1	W	
8	トビ							1				1	3	5	R	
9	オオタカ									1		1		2	R	
10	カワセミ	1			1									2	R	
11	コゲラ	13	13	16	12	7	17	13	12	13	14	19	20	169	R	
12	アオゲラ	3	3	2	1	3	1	2	1		1	1	1	19	R	
13	サンコウチョウ		1											1	T	
14	モズ									2	1		1	4	R	
15	カケス							1						1	W	
16	ハシボソガラス	1	5	5		5		8	1	3	1	3	5	37	R	
17	ハシブトガラス	33	44	35	21	14	6	74	22	44	13	26	28	360	R	
18	ヤマガラ	10	2	4	1	7	12	7	1	1	10	2	11	68	R	
19	ヒガラ	2												2	W	
20	シジュウカラ	34	32	64	39	8	46	35	50	26	46	28	45	453	R	
21	ツバメ		4	15	9	1								29	S	
22	ヒヨドリ	88	32	38	46	29	4	40	73	106	95	54	33	638	R	
23	ウグイス	24	16	18	15	12	3	5	11	6	11	16	16	153	R	
24	エナガ	11	1	3			29	13	13	19	21	20	18	148	R	
25	メボソムシクイ		1						1					2	T	
26	エゾムシクイ		3											3	T	
27	センダイムシクイ		17											17	T	
28	メジロ	52	35	39	44	28	48	18	56	22	50	28	14	434	R	
29	シロハラ	3								1	3	4	1	12	W	
30	アカハラ		1											1	W	
31	ツグミ	1								1	3	1	2	8	W	
32	コルリ		2											2	T	
33	ルリビタキ												1	1	W	
34	ジョウビタキ									1		1		2	W	
35	エゾビタキ							10						10	T	
36	コサメビタキ		1				1	1						3	T	
37	キビタキ		7	1		1		6						15	S	
38	オオルリ						1							1	T	
39	スズメ	5	10	10	11	5		7	1					49	R	
40	キセキレイ							1						1	R	
41	ハクセキレイ							6			1	1	1	9	R	
42	ビンズイ	1												1	W	
43	カワラヒワ		1							6	25		20	52	R	
44	シメ	3	8									2		13	W	
45	イカル		2											2	W	
46	アオジ	7	1						2	9	7	18	12	56	W	
47	コジュケイ		2	1				1					1	5	R	
48	ドバト	7	8	6	8	2	1	17	13	18	13	31	17	141	R	
49	ガビチョウ	9	24	21	20	16	7	6	10	2	22	5	6	148	R	
	総個体数	320	291	284	235	147	177	275	268	286	345	280	271	3179		
	総種数	23	29	18	16	15	14	23	16	20	21	23	24	49		



表 3) 生田緑地での 2012 年度定例調査における月別の確認種および個体数.

№	年 月日 天候 風速	2012										2013			合計	渡り 区分
		4/10	5/8	6/12	7/10	8/17	9/11	10/12	11/13	12/11	1/8	2/8	3/12			
		晴 弱	晴 弱	曇 微	晴 微	晴 弱	晴 微	晴 弱	晴 微	晴 微	晴 微	晴 強	晴 弱			
	調査時間 (分)	245	225	245	245	215	230	235	290	305	295	215	270	3015		
1	カルガモ		1											1	R	
2	キジバト	4	2	2	5	3	3	3	6	9	30	24	13	104	R	
3	カワウ	1								1	1	1	2	6	R	
4	コサギ	1												1	R	
5	ホトトギス			1										1	S	
6	トビ	1	1							1		1	1	5	R	
7	ハイタカ									1	2	1		4	W	
8	ノスリ									1	1			2	W	
9	カワセミ	1	1	1	2									5	R	
10	コゲラ	15	16	15	20	6	8	11	23	12	9	11	11	157	R	
11	アカゲラ							1			1		1	3	W	
12	アオゲラ	3	4	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	19	R	
13	サンショウクイ		1											1	T	
14	モズ								1	1	1			3	R	
15	カケス	1						1		9	4	1	1	17	W	
16	オナガ		2							16				18	R	
17	ハシボソガラス	3	6	13	10	2	2	4	10	1	6	5	4	66	R	
18	ハシブトガラス	34	160	39	18	18	26	22	24	17	15	23	38	434	R	
19	キクイタダキ									3	5	2	2	12	W	
20	ヤマガラ	6	2	7	10	2	4	8	9	7	11	3	14	83	R	
21	ヒガラ								5	4	12	5	1	27	W	
22	シジュウカラ	34	24	28	56	38	35	63	60	35	53	26	28	480	R	
23	ツバメ	3	9	8	5									25	S	
24	イワツバメ			5	3									8	S	
25	ヒヨドリ	111	46	43	34	16	8	104	128	170	97	26	24	807	R	
26	ウグイス	30	30	14	17	2	3	8	15	16	16	5	21	177	R	
27	ヤブサメ	1	1											2	T	
28	エナガ	2	3	3	5	3	2	10	3	25	12	6	8	82	R	
29	センダイムシクイ		1											1	T	
30	メジロ	42	33	23	70	35	32	38	72	55	69	27	15	511	R	
31	ミソサザイ												1	1	W	
32	ムクドリ		5											5	R	
33	シロハラ	4							4	21	15	12	13	69	W	
34	アカハラ		1						1					2	W	
35	ツグミ							2	5	7	4	2		20	W	
36	コルリ		1											1	T	
37	ルリビタキ									2	1	2	1	6	W	
38	ジョウビタキ								2	1	1	1	1	6	W	
39	キビタキ		2					4						6	S	
40	スズメ	5	9	16	17	12	2		1	4	3		4	73	R	
41	キセキレイ										1			1	R	
42	ハクセキレイ	1		1	2		4	3	1	4	1	2		19	R	
43	ビンズイ								4		1			5	W	
44	アトリ											14		14	W	
45	カワラヒワ		1									5		6	R	
46	マヒワ									10	10			20	W	
47	ウソ									2	12	3	17	34	W	
48	シメ	3							8	15	14	1	2	43	W	
49	イカル							1						1	W	
50	ミヤマホオジロ									2				2	W	
51	アオジ	5							13	23	30	23	20	114	W	
52	クロジ								1	1		1		3	W	
53	コジュケイ	2	6	1	1	2					1		3	16	R	
54	ドバト	16	20	12	7	5	6	4	18	24	33	23	17	185	R	
55	ガビチョウ	29	29	22	24	11	10	7	15	3	4		13	167	R	
56	ソウシチョウ								4		1			5	W	
	総個体数	358	417	257	307	156	146	295	434	504	478	257	277	3886		
	総種数	26	28	20	19	15	15	19	26	34	35	29	28	56		

表 4) 生田緑地での 2013 年度定例調査における月別の確認種および個体数.

No	年 月日 天候 風速	2013										2014			合計	渡り 区分
		4/9	5/10	6/11	7/9	8/13	9/10	10/8	11/12	12/13	1/10	2/18	3/11			
		晴 弱	晴 無	曇 無	晴 無	晴 無	曇 微	晴 中	晴 微	晴 強	晴 中	晴 弱	晴 弱			
	調査時間 (分)	285	255	235	230	185	225	255	265	255	215	270	250	2925		
1	カルガモ	2	1	1										4	R	
2	キジバト	7	6	7	9	7	7	6	17	10	17	26	11	130	R	
3	アオバト		1											1	T	
4	カワウ												2	2	R	
5	コサギ									1		1		2	R	
6	ホトトギス			2	2									4	S	
7	トビ									2		1	2	5	R	
8	ハイタカ									1		1		2	W	
9	ノスリ											1		1	W	
10	カワセミ			1	1									2	R	
11	コゲラ	16	12	16	10	8	6	24	20	15	10	12	27	176	R	
12	アオゲラ	2	6	1	1	2	2	2	4	1	1	1	1	24	R	
13	モズ							3	2		1	1		7	R	
14	カケス	6												6	W	
15	ハシボソガラス	3	26	9	7		1	17	8	3	4	5	6	89	R	
16	ハシブトガラス	31	50	24	19	9	40	65	30	21	19	31	18	357	R	
17	クイタダキ	1												1	W	
18	ヤマガラ	7	6	10	7	2	2	7	13	5	13	8	15	95	R	
19	ヒガラ	2												2	W	
20	シジュウカラ	36	40	61	28	12	39	79	41	60	42	39	35	512	R	
21	ツバメ	2	2	10	14									28	S	
22	ヒヨドリ	120	38	39	28	7	4	62	140	122	68	20	37	685	R	
23	ウグイス	21	16	18	17	6	1	10	18	5	9	3	23	147	R	
24	エナガ	10	13	16	9	4	20	9	42	39	16	30	25	233	R	
25	キマユムシクイ											1	1	2	T	
26	エゾムシクイ		1											1	T	
27	センダイムシクイ		1				1							2	T	
28	メジロ	51	16	20	22	6	25	47	58	32	17	11	17	322	R	
29	ムクドリ		1	1	3									5	R	
30	シロハラ	1								1	2	8	2	14	W	
31	ツグミ	3										1	1	5	W	
32	ルリビタキ									1	1	2	2	6	W	
33	ジョウビタキ									1			1	2	W	
34	エソビタキ						4							4	T	
35	キビタキ		4	2				3						9	S	
36	スズメ	10	23	16	36			17	11			3	2	118	R	
37	キセキレイ									1				1	R	
38	ハクセキレイ		1	2			1		2	2	4	1	2	15	R	
39	ビンズイ	1												1	W	
40	カワラヒワ	1							1	2	12	41	42	99	R	
41	シメ	19	10								1	1	1	32	W	
42	カシラダカ											2		2	W	
43	アオジ	10							15	16	11	24	13	89	W	
44	クロジ		1											1	W	
45	コジュケイ	2	5		1	1			3			1	1	14	R	
46	ドバト	24	11	8	3	3	7	15	2	22	13	28	10	146	R	
47	ガビチョウ	19	20	25	23	20	2	9	8	1	4	2	15	148	R	
	総個体数	407	311	289	240	87	162	375	435	364	265	306	312	3553		
	総種数	26	25	21	19	13	16	16	19	23	20	29	26	47		

表 5) 生田緑地での 2014 年度定例調査における月別の確認種および個体数.

No	年 月日 天候 風速	2014										2015			合計	渡り 区分
		4/8	5/13	6/10	7/8	8/12	9/9	10/10	11/14	12/9	1/9	2/10	3/10			
		晴 弱	雨 無	曇 無	晴 微	曇 弱	晴 弱	晴 弱	晴 無	晴 弱	晴 弱	晴 微	晴 弱			
	調査時間 (分)	255	210	245	250	180	215	235	255	260	225	235	220	2785		
1	カルガモ	2	4	2										8	R	
2	キジバト	2	14	3	8	5	1	1	7	14	9	21	10	95	R	
3	カワウ	2	1							1			25	29	R	
4	コサギ	1												1	R	
5	ホトトギス			3		1								4	S	
6	トビ						1				1	1		3	R	
7	ツミ						1				1	1		3	R	
8	ハイタカ											1		1	W	
9	オオタカ	1												1	R	
10	ノスリ											1		1	W	
11	カワセミ	2	2	3	1						1	1		10	R	
12	コゲラ	16	17	21	21	6	7	12	6	8	17	12	19	162	R	
13	アカゲラ											1	1	2	W	
14	アオゲラ	4	4	2	1	2	3	4	2	3	1	3	3	32	R	
15	サンコウチョウ						1							1	T	
16	モズ								1	2	2	1		6	R	
17	カケス							3		5	7		4	19	W	
18	ハシボソガラス	2	15	17	9	5	2	2	2	1	2	8	11	76	R	
19	ハシブトガラス	43	45	17	31	21	29	29	32	21	30	22	28	348	R	
20	ヤマガラ	6	5	11	6	5	2	20	11	6	10	9	7	98	R	
21	シジュウカラ	28	18	40	29	9	20	51	29	46	20	35	30	355	R	
22	ツバメ		3	2	6	1								12	S	
23	ヒヨドリ	128	43	30	44	8	4	121	168	124	66	21	23	780	R	
24	ウグイス	33	19	23	22	3	1	11	19	18	8	11	11	179	R	
25	ヤブサメ		1	1	1									3	T	
26	エナガ	9	22	12	5		9	34	8	20	6	38	14	177	R	
27	センダイムシクイ						1							1	T	
28	メジロ	44	25	39	56	47	14	69	41	50	33	6	1	425	R	
29	ヒレンジャク											6		6	T	
30	ミソサザイ											1		1	W	
31	ムクドリ		15	1									2	18	R	
32	シロハラ	2							4	13	10	15	7	51	W	
33	ツグミ	1							3	4	1		1	10	W	
34	ルリビタキ									8	2	3		13	W	
35	ジョウビタキ								3	2	2	1		8	W	
36	エゾビタキ						1							1	T	
37	コサメビタキ						1							1	T	
38	キビタキ		2	2	3		1	2						10	S	
39	オオルリ						1							1	T	
40	スズメ	13	34	20	31	3		3	3				10	117	R	
41	キセキレイ						1	1	1				1	4	R	
42	ハクセキレイ		1	1				1	2	2	2		1	10	R	
43	カワラヒワ	6									2			8	R	
44	ウソ	1							1	4		8		14	W	
45	シメ	3							1	4	4	3	1	16	W	
46	イカル							1						1	W	
47	アオジ	11							11	18	23	14	16	93	W	
48	クロジ										1	2		3	W	
49	コジュケイ	1	1	2	2	1		2	1		1	1	7	19	R	
50	ドバト	3	3	4	4	6	18	5	3	10	6	10	12	84	R	
51	ガビチョウ	27	14	20	28	14	5	25	27	3	12	8	15	198	R	
52	ソウシチョウ				1									1	W	
	総個体数	391	308	276	309	137	124	397	386	387	278	264	263	3520		
	総種数	26	23	23	20	16	22	20	24	24	26	29	28	52		

表 6) 生田緑地での 2010 年度から 2014 年度までの確認鳥類一覧.

№	科名	種名	学名	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	渡り 区分	RL
1	カモ科	マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>					△	W	
2		カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>	○	○	○	○	○	R	
3	ハト科	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	○	○	○	○	○	R	
4		アオバト	<i>Treron sieboldii</i>	△	△	△	○	△	T	
5	ウ科	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	○	○	○	○	○	R	
6	サギ科	ミゾゴイ	<i>Gorsachius goisagi</i>			△	△	△	T	VU
7		ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>	○		△			R	
8		アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	○	○	△	△	△	R	
9		コサギ	<i>Egretta garzetta</i>	○	○	○	○	○	R	
10	カッコウ科	ジュウイチ	<i>Hierococcyx hyperythrus</i>					△	T	
11		ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>	○	○	○	○	○	S	
12		ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>		△	△	△	△	T	
13		カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>	△		△			T	
14	ヨタカ科	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>					△	T	NT
15	アマツバメ科	アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>	△					T	
16		ヒメアマツバメ	<i>Apus nipalensis</i>		△			△	R	
17	シギ科	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>	○	○	△	△	△	W	
18	タカ科	トビ	<i>Milvus migrans</i>	○	○	○	○	○	R	
19		ツミ	<i>Accipiter gularis</i>	○	△	△	△	○	R	
20		ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>	△	△	○	○	○	W	NT
21		オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	○	○	△	△	○	R	NT
22		ノスリ	<i>Buteo buteo</i>	△	△	○	○	○	W	
23	フクロウ科	ワシミミズク	<i>Bubo bubo</i>		△				A	
24		フクロウ	<i>Strix uralensis</i>	△	△	△	△	△	R	
25	カワセミ科	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	○	○	○	○	○	R	
26	キツキ科	コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	○	○	○	○	○	R	
27		アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>	○		○		○	W	
28		アオゲラ	<i>Picus awokera</i>	○	○	○	○	○	R	
29	ハヤブサ科	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>	○		△	△	△	R	
30		ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>		△		△		W	VU
31	サンショウクイ科	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>	△	△	○	△	△	T	VU
32	カササギヒタキ科	サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i>	△	○	△	△	○	T	
33	モズ科	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>	○	○	○	○	○	R	
34	カラス科	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>	○	○	○	○	○	W	
35		オナガ	<i>Cyanopica cyanus</i>	○	△	○	△	△	R	
36		ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>	○	○	○	○	○	R	
37		ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	○	○	○	○	○	R	
38	クイタダキ科	クイタダキ	<i>Regulus regulus</i>			○	○		W	
39	シジュウカラ科	ヤマガラ	<i>Poecile varius</i>	○	○	○	○	○	R	
40		ヒガラ	<i>Periparus ater</i>	○	○	○	○		W	
41		シジュウカラ	<i>Parus minor</i>	○	○	○	○	○	R	
42	ツバメ科	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	○	○	○	○	○	S	
43		コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica</i>			△			S	
44		イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i>	○	△	○		△	S	
45	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	○	○	○	○	○	R	
46	ウグイス科	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	○	○	○	○	○	R	
47		ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>	○	△	○	△	○	T	
48	エナガ科	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	○	○	○	○	○	R	
49	ムシクイ科	キマユムシクイ	<i>Phylloscopus inornatus</i>				○		T	
50		メボソムシクイ	<i>Phylloscopus xanthodryas</i>		○		△		T	
51		エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealoides</i>	△	○	△	○	△	T	
52		センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>	△	○	○	○	○	T	
53	メジロ科	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	○	○	○	○	○	R	
54	ヨシキリ科	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>	△					S	
55	レンジャク科	キレンジャク	<i>Bombycilla garrulus</i>					△	T	
56		ヒレンジャク	<i>Bombycilla japonica</i>				△	○	T	
57	ミソサザイ科	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i>	△		○	△	○	W	
58	ムクドリ科	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>	△	△	○	○	○	R	
59		コムクドリ	<i>Agropsar philippensis</i>				△		T	

表 6) 生田緑地での 2010 年度から 2014 年度までの確認鳥類一覧 (続き).

No	科名	種名	学名	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	渡り 区分	RL
60	ヒタキ科	マミジロ	<i>Zoothera sibirica</i>		△				T	
61		トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>	○	△	△	△	△	W	
62		クログミ	<i>Turdus cardis</i>		△	△	△	△	T	
63		マミチャジナイ	<i>Turdus obscurus</i>	△		△		△	T	
64		シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>	○	○	○	○	○	W	
65		アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>	△	○	○	△	△	W	
66		ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>	○	○	○	○	○	W	
67		コマドリ	<i>Luscinia akahige</i>	△	△	△	△		T	
68		コルリ	<i>Luscinia cyane</i>	△	○	○	△	△	T	
69		ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>	○	○	○	○	○	W	
70		ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureoreus</i>	○	○	○	○	○	W	
71		エゾビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>	○	○	△	○	○	T	
72		サメビタキ	<i>Muscicapa sibirica</i>	△	△	△	△	△	T	
73		コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>	△	○	△	△	○	T	
74		キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	○	○	○	○	○	S	
75		オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	○	○	△	△	○	T	
76	スズメ科	スズメ	<i>Passer montanus</i>	○	○	○	○	○	R	
77	セキレイ科	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>	○	○	○	○	○	R	
78		ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>	○	○	○	○	○	R	
79		セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	△		△			R	
80		ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	○	○	○	○	△	W	
81	アトリ科	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>	△	△	○	△	△	W	
82		カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>	○	○	○	○	○	R	
83		マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>	○	△	○	△	△	W	
84		ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>	△		○	△	○	W	
85		シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>	○	○	○	○	○	W	
86		イカル	<i>Eophona personata</i>	○	○	○	△	○	W	
87	ホオジロ科	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>				△	△	R	
88		コホオアカ	<i>Emberiza pusilla</i>				△		T	
89		カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>	△		△	○	△	W	
90		ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i>			○		△	W	
91		アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>	○	○	○	○	○	W	
92		クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>	△	△	○	○	○	W	
外来種										
93	キジ科	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i>	○	○	○	○	○	R	
94	ハト科	ドバト	<i>Columba livia</i>	○	○	○	○	○	R	
95	チメドリ科	ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i>	○	○	○	○	○	R	
96		ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i>	○	△	○	△	○	W	
総種数				76	72	80	79	80		
註) ○ : 定例調査で出現, △ : 定例調査外で出現										
註) RL:環境省レッドリスト										
VU : 絶滅の危険が増大している種.										
NT : 現時点での絶滅の危険度は小さいが生息条件によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種.										

表 7) 定例で確認された鳥類 (渡り区分ごとの個体数が多い順 2010 年度～2014 年度).

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	合計	渡り区分	
1	ヒヨドリ	641	638	807	685	780	3551	R
2	シジュウカラ	539	453	480	512	355	2339	R
3	メジロ	439	434	511	322	425	2131	R
4	ハシブトガラス	438	360	434	357	348	1937	R
5	コゲラ	157	169	157	176	162	821	R
6	ウグイス	154	153	177	147	179	810	R
7	ガビチョウ	116	148	167	148	198	777	R
8	エナガ	100	148	82	233	177	740	R
9	ドバト	98	141	185	146	84	654	R
10	キジバト	76	75	104	130	95	480	R
11	スズメ	64	49	73	118	117	421	R
12	ヤマガラ	67	68	83	95	98	411	R
13	ハシボソガラス	49	37	66	89	76	317	R
14	カワラヒワ	70	52	6	99	8	235	R
15	アオゲラ	28	19	19	24	32	122	R
16	ハクセキレイ	7	9	19	15	10	60	R
17	コジュケイ	5	5	16	14	19	59	R
18	カワウ	1	5	6	2	29	43	R
19	カワセミ	9	2	5	2	10	28	R
20	ムクドリ			5	5	18	28	R
21	カルガモ	9	5	1	4	8	27	R
22	トビ	6	5	5	5	3	24	R
23	オナガ	6		18			24	R
24	モズ	2	4	3	7	6	22	R
25	キセキレイ	4	1	1	1	4	11	R
26	コサギ	1	3	1	2	1	8	R
27	アオサギ	2	5				7	R
28	オオタカ	4	2			1	7	R
29	ツミ	1				3	4	R
30	チョウゲンボウ	2					2	R
31	ゴイサギ	1					1	R
1	ツバメ	32	29	25	28	12	126	S
2	キビタキ	2	15	6	9	10	42	S
3	ホトトギス	5	6	1	4	4	20	S
4	イワツバメ	7		8			15	S
1	アオジ	48	56	114	89	93	400	W
2	シメ	96	13	43	32	16	200	W
3	シロハラ	40	12	69	14	51	186	W
4	ツグミ	73	8	20	5	10	116	W
5	カケス	15	1	17	6	19	58	W
6	ウソ			34		14	48	W
7	マヒワ	18		20			38	W
8	ヒガラ	6	2	27	2		37	W
9	ルリビタキ	6	1	6	6	13	32	W
10	ジョウビタキ	7	2	6	2	8	25	W
11	イカル	20	2	1		1	24	W
12	ソウシチョウ	17		5		1	23	W
13	アトリ			14			14	W
14	キクイタダキ			12	1		13	W
15	ビンズイ	5	1	5	1		12	W
16	ハイタカ			4	2	1	7	W
17	クロジ			3	1	3	7	W
18	アカゲラ	1		3		2	6	W
19	ノスリ			2	1	1	4	W
20	アカハラ		1	2			3	W
21	ヤマシギ	1	1				2	W
22	ミソサザイ			1		1	2	W
23	カシラダカ				2		2	W
24	ミヤマホオジロ			2			2	W
25	トラツグミ	1					1	W
1	センダイムシクイ		17	1	2	1	21	T
2	エゾビタキ	3	10		4	1	18	T
3	ヤブサメ	2		2		3	7	T
4	ヒレンジャク					6	6	T
5	エゾムシクイ		3		1		4	T
6	ヨサメビタキ		3			1	4	T
7	コルリ		2	1			3	T
8	オオルリ	1	1			1	3	T
9	サンコウチョウ		1			1	2	T
10	キマユムシクイ				2		2	T
11	メボソムシクイ		2				2	T
12	アオバト				1		1	T
13	サンショウクイ			1			1	T
	総種数	52	49	56	47	52	73	

表 9) 野鳥と木の果の採食関係 (生田緑地 1996年4月~2015年6月).

鳥名 樹木名	ヒヨドリ	メジロ	ハシブトガラス	キジバト	ヤマガラ	シジュウカラ	コゲラ	イカル	ガビチョウ	アオゲラ	ウソ	カワラヒワ	シメ	シロハラ	ルリビタキ	ジョウビタキ	スズメ	ツグミ	ドバト	ハシボソガラス	ヒレンジャク	マヒワ	アカゲラ	エナガ	カケス	アカハラ	エゾビタキ	キビタキ	キレンジャク	クロジ	コサメビタキ	ヒガラ	アオジ	アトリ	オオルリ	コイカル	コガラ	ソウシチヨウ	マミチャジナイ	ムクドリ	モズ	合計								
アオキ	○								○															○																			3							
アカメガシワ		○	○	○			○			○					○							○	○				○	○		○															11					
イイギリ	○			○																																									2					
イヌザクラ			○																																										1					
イヌザンショウ		○																										○																		2				
イヌシデ			○			○	○					○	○																○		○															6				
イロハモミジ													○									○																								2				
ウグイスカグラ	○			○																																										2				
ウリカエデ										○																																					1			
エゴノキ				○	○																																										2			
エノキ	○	○	○	○		○	○	○		○		○	○	○				○				○	○		○																						16			
エンジュ	○																																														1			
カキ	○	○	○			○	○		○	○							○																															8		
ガクアジサイ											○																																					1		
キツタ	○				○																	○				○																						4		
クスノキ	○			○	○																	○																										4		
クヌギ					○																																											1		
クロガネモチ	○																																															1		
ケヤキ								○																																								1		
ケヤマハンノキ																						○																										1		
コナラ					○			○	○																	○																							4	
コブシ	○																																															1		
ゴンズイ		○																																															1	
サクラ	○	○	○			○	○															○																										7		
サンゴジュ		○																																															1	
シュロ	○																																																1	
シンジュ						○																																											1	
スダジイ			○	○																			○	○																									4	
センダン	○																																																1	
タラノキ		○																																															1	
チャンチン			○																																														1	
ツルグミ																							○																										2	
トウカエデ									○																																									1
トウネズミモチ	○									○																																								2

表 9) 野鳥と木の果の採食関係 (生田緑地 1996年4月~2015年6月)(続き).

鳥名 樹木名	ヒヨドリ	メジロ	ハシブトガラス	キジバト	ヤマガラ	シジュウカラ	コゲラ	イカル	ガビチョウ	アオゲラ	ウン	カワラヒワ	シメ	シロハラ	ルリビタキ	ジョウビタキ	スズメ	ツグミ	ドバト	ハシボソガラス	ヒレンジャク	マヒワ	アカゲラ	エナガ	カケス	アカハラ	エゾビタキ	キビタキ	キレンジャク	クロジ	コサメビタキ	ヒガラ	アオジ	アトリ	オオルリ	コイカル	コガラ	ソウシチョウ	マミチャジナイ	ムクドリ	モズ	合計					
ナツミカン	○		○																																											2	
ナンキンハゼ		○	○	○	○	○	○			○							○																														8
ニガキ				○																																											1
ニワトコ		○		○																																											2
ヌルデ	○							○							○	○		○																													5
ノイバラ		○																																													1
ハクモクレン			○																																												1
ハナミズキ	○								○																																						3
ハリギリ	○	○	○				○												○																												6
ハンノキ															○						○																										2
ヒサカキ	○	○			○					○	○			○		○															○									○							9
ヒマラヤスギ					○	○							○																			○							○								5
ヒメコウゾ	○	○															○																														3
ピラカンサ	○	○																																													2
フウ																						○																									1
ホオノキ			○						○													○																									3
マツ					○	○					○																																				4
マユミ							○																																								1
マンリョウ	○																																														1
ミズキ		○	○		○	○	○		○							○								○		○	○				○						○										13
ムクノキ	○	○	○	○	○								○	○					○	○	○																										11
ムラサキシキブ	○	○								○					○																																4
メタセコイア										○											○	○														○											4
モッコク		○	○	○	○	○	○									○																															7
モミ						○																																									1
ヤツデ	○	○																																													2
ヤドリギ																						○																									2
ヤブムラサキ	○	○																																													2
ヤマグワ	○	○	○	○												○				○																											6
ヤマハゼ	○	○	○		○	○	○								○	○																															8
ヤマモモ				○																																											1
ユリノキ	○					○																																									2
ラクウショウ				○																																											1
合計	29	22	20	14	13	13	9	6	6	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	222		





表 11) サクラ類の部位と採食する野鳥との関係 (生田緑地 1996 年 4 月～2015 年 6 月).

サクラの部位	アオジ	イカル	ウソ	ガビチヨウ	コゲラ	シジュウカラ	シメ	スズメ	ソウシチヨウ	ハシブトガラス	ハシボソガラス	ヒヨドリ	ムクドリ	メジロ	ヤマガラ	合計
芽			○													1
蕾		○	○													2
花卉				○			○	○				○				4
子房	○						○	○	○				○		○	6
木の実		○				○				○	○	○	○	○		7
葉							○				○	○				3
蜜					○			○				○		○		4
合計	1	2	2	1	1	1	3	3	1	1	2	4	2	2	1	27

表 12) 野鳥と草の葉の採食関係 (生田緑地 1996 年 4 月～2015 年 6 月).

鳥名 \ 草の葉	アオジ	アトリ	ウソ	カシラダカ	カワラヒワ	キジバト	キレンジャク	クロジ	コジュケイ	シジュウカラ	スズメ	ドバト	ハシブトガラス	ヒヨドリ	ホオジロ	ミヤマホオジロ	メジロ	合計
アシ											○							1
イネ	○					○					○							3
イノコズチ	○	○	○		○	○		○	○									7
オオブタクサ				○														1
オヒシバ	○																	1
オモト							○											1
カナムグラ	○									○	○							3
カラスウリ													○	○			○	3
キチジョウソウ							○											1
ススキ	○														○	○		3
スズメノカタビラ						○						○						2
タケニグサ	○		○					○										3
チヂミザサ	○																	1
ヌカキビ																○		1
ノラボウナ						○												1
ハナタデ	○																	1
ヒヨドリジョウゴ														○				1
ブタクサ					○													1
ミズヒキ						○												1
ヤハズソウ												○						1
ヤブミョウガ	○					○												2
ヨウシュヤマゴボウ						○												1
合計	9	1	2	1	2	7	2	2	1	1	3	2	1	2	1	2	1	40

註) 鳥名・草名とも五十音順

註) (草の葉食) ドバト: オオバコ, ヤハズソウ / ヒヨドリ: カラスウリ, ノキシノブ, ノラボウナ / キジバト: ハコベ (キノコ食) ハシブトガラス: キノコ類 / カケス: ヒラタケ



①エゴノキの実とヤマガラ (2014/9/14).



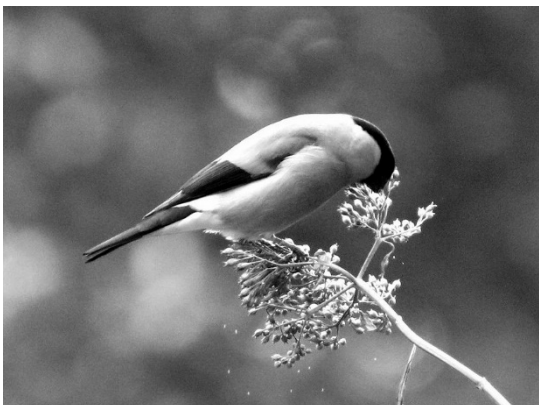
②アカメガシワの実とキビタキ (2014/10/2).



③カキの実とメジロ (2014/10/30).



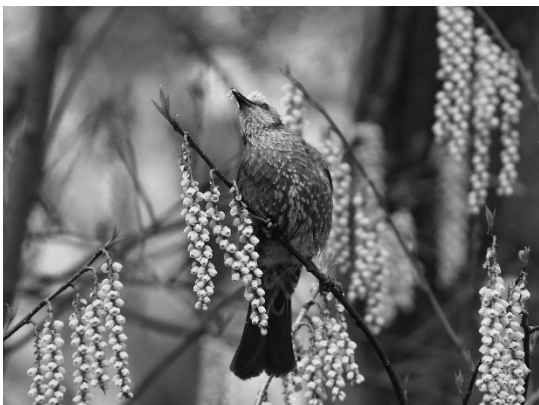
④ケヤマハンノキの実とマヒワ (2014/1/11).



⑤ガクアジサイの実とウソ (2015/1/7).



⑥イノコズチの実とクロジ (2015/1/17).



⑦キブシの花とヒヨドリ (2015/3/23).

図3) 野鳥の採食風景.

